

# Salon

Vol.147 2023年11月 冬号



ホール4F壁画 ポール・ゴッアマン作「チューリップ」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — 上野通明
- 03 Phoenix Presents — フェニックス・リベラルアーツ・プロジェクト  
「J.S.バッハ×建築」  
ザ・フェニックスホールに集う  
トップアンサンブルシリーズ2024-2025
- 05 Pick Up
- 07 Essay de say — 愛知県芸術劇場「ミニセレ」シリーズで多様な音楽の楽しみを!

# チェロで伝える自身の“声” 上野 通明さん

「バラエティに富んだプログラムですが、僕らが“今、感じていること”をそれぞれの曲で思う存分、発信したいと思っています。ぜひ、それをお楽しみいただけたら…」。2021年、難関で知られるジュネーヴ国際音楽コンクールのチェロ部門を日本人として初めて制し、現在はベルギーを拠点に、国際的かつ精力的な演奏活動を展開する俊英チェリスト、上野通明。同年代で盟友のピアニスト、北村朋幹と共に登場し、バッハとフォーレ、ベートーヴェン、ブラームスの名ソナタを披露する、新春1月のティータイムコンサートについて、熱っぽく語る。「北村君とのデュオは、毎回が新鮮。同じ曲を演ろうとも、常に新しい風を吹かせるように仕上げてゆくの楽しい」「どんな空間であろうとも、ホールを楽器として鳴らすイメージでやっています」「常に音楽へ真摯に向き合い、自分の理想をずっと追いつめてゆきたい」…。真っ直ぐな眼差しに向こうには、一体、何が映し出されているのだろうか。

(寺西肇 音楽ジャーナリスト)

上野通明(うえの・みちあき/チェロ)

2021年ジュネーヴ国際音楽コンクール・チェロ部門で日本人初の優勝を果たし、あわせて3つの特別賞も受賞し話題となる。パラグアイで生まれ、幼少期をスペイン、バルセロナで過ごす。13歳で若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール日本人初の優勝、ルーマニア国際音楽コンクール最年少第1位、ルーマニア大使館賞、ルーマニアラジオ文化局賞を併せて受賞、ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝、ヴィトルト・ルトスワフスキ国際チェロコンクール第2位と国際舞台で次々と活躍する。これまでに、ソリストとしてワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、ロシア交響楽団、スイス・ロマンダ管弦楽団、KBS交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など、国内外の主要オーケストラと共演。ジャン＝ギャン・ケラス、ダニエル・ゼベックらの著名な海外アーティストとも多数共演し好評を博す。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース全額免除特待生として毛利伯郎に師事し、オランダの名チェリスト、ピーター・ウィスベルウェイに招かれ19歳で渡独。現在エリザベート王妃音楽院にてゲリー・ホフマンにも師事。主にヨーロッパと日本で積極的に演奏活動を行っている。令和3年度文化庁長官(国際芸術部門)表彰受彰。第31回出光音楽賞受賞。使用楽器は1758年製P.A.Testore(宗次コレクション)、弓は匿名のコレクターよりF.Tourteをそれぞれ貸与されている。

# 「今、感じていること」を発信したい

M  
Ueno Michiaki

「以前から、自分が大好きな曲ばかり。でも実は、そのうち3曲は、弾いた経験が無くで…『いつか機会があれば』と、ずっと貯めてきた曲を“詰め込んだ”という感覚かもしれません。ヴィオラ・ダ・ガンバのためのバッハとヴァイオリンのためのブラームスの両「第1番」に、チェロのためのフォーレの「第2番」、そして同じくベートーヴェンの「第5番」…バロックからロマン期に至る4つの弦楽器の名ソナタを並べた、今回のリサイタルのプログラムについて、上野は説明する。

唯一、弾いた経験があるのは、ベートーヴェンの第5番。「でも、一度きりで、それもずいぶん前のこと。少し“不完全燃焼”だったので、今回はリベンジの意味合いもあります。冒頭から爆発的で、突き抜けたテンションの曲。そんな雰囲気余さず表現できれば」。かたや、フォーレは「ベルギーで勉強していると、フランス作品を耳にする機会も多いので、潜在的に弾きたい気持ちが強くなってゆきました。特に、ナポレオン没後100年の折に『葬送歌』として書かれた第2楽章の、祈りを思わせる和声感が気に入っています」。

かたや、『雨の歌』の愛称で知られるブラームスは「ヴァイオリンを習っていた姉(現在はデュッセルドルフ交響楽団で活躍する上野明子)が弾くのを幼い頃から良く聴いていて、いつか自分も弾きたいと…」。チェロ版では二長調へ移調される場合が多いが、今回は原調のト長調で披露。「移調をすると少し違和感が…例えば、第1楽章の第2主題は、低音でのハ長調よりも、明るく前向きな二長調で弾く方が、しっくり来ます。一方で、温かさや優しさが増して、素敵で美しく、魅力的なチェロ特有の表現ができるのでは、と考えています」。

また、チェロでの演奏機会も多い、バッハのヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタは「第2番と第3番は弾いたことがあります。第1番だけが経験なくて…元々はフルート2本と通奏低音のためのトリオ・ソナタだったのを、鍵盤楽器の2声部とガンバの1声部へと移し替えたと考えられている曲なので、お互いに会話するような掛け合いの楽しさや、穏やかで温かな楽想が、新年のフレッシュな気分にも相応しいと思い、選びました」。

ピアノの北村朋幹とは、共演の機会が多い。「最も尊敬するアーティストの一人。曲に取り組む熱量も、ステージを重ねつつ、自然と蓄積されてゆく音楽的知識も、半端ではありません。しかも、その知識だけで音楽を組み立てる訳ではなく、音楽家

として、独自の世界感を持っています。舞台上でもすぐ反応したり、仕掛けてきてくれたり…毎回は新鮮で、たとえ同じ曲を弾いても、常に新しい風を吹かせるように仕上げるのが、とても楽しい。今回のステージでも、僕たちが『今、感じていること』を思う存分、発信したいと思っています」。

ジュネーヴ国際音楽コンクールでの快挙で、一躍スターダムを駆け上がった。「急にステージの回数は増えましたが、そこから勉強できることは沢山あるし、色々な経験をさせていただけるのは、凄く有難いことです」。コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻など、激動の世界情勢の中にあつて「自分が今、何気ない日常を送れる有難みや、人前で演奏できる喜びが、いっそう強まりました」。一方で「ロックダウン中は、時間が沢山あったので、レパートリーも増やしたり、普段の自分の弾き方を色々に変えて試して、調整したりする良い機会に…」とも。

2022年秋にバッハ『無伴奏チェロ組曲』全6曲の録音[La Dolce Volta]を発表。ピリオド奏法を採り入れつつ、現代性にも満ちた流麗な快演が話題に。国内はもとより、世界各地でライブ公演も重ねている。実は、チェロを始めたきっかけも、この傑作。5歳の時に観た映像番組で、ヨーヨー・マが弾く姿に魅了されたのだという。「弾き方とか、音の響きとか、とにかく格好良く…僕はもともと、高音よりも中低音の方が好きで、すごく憧れがあつて…『深みがある』と強く感じました」。

そして1年間、両親にねだり続けて、ようやく最初の楽器を手にした。その直後、父親の仕事の関係で、スペインのバルセロナへ移住。同地で学んだチェロの教師は「バッハの無伴奏が弾きたい」と言う幼い少年に、初めから望む曲の手ほどきをしてくれたという。「驚きましたが、とても嬉しかったのを覚えています。その後も色々な国へ行くたび、様々な先生からご指導やアドバイスをいただいて…。まさに、この作品は、常に自分の傍にある感覚。自分と一緒に成長し、進化してくれる特別な存在だと捉えています」。

現在は、ピーター・ウィスベルウェイとゲイリー・ホフマン、2人の世界的名匠に師事している。「ウィスベルウェイさんは人柄も個性的で、一緒にいると、こっちまでワクワクするような魅力的な方。それが彼の音楽にそのまま通じています。ホフマンさんも、すごく温かな人柄。ただ楽譜に記されていることに留まらず、『どうして、こう書かれているか』を深く追求するアプローチは、とても勉強になります。お二人の美点を、少しでも多く吸収できれば、と努力しています」。

ミラノの名工パオロ・アントニオ・テストレーが1758年に製作した銘器が、上野の現在の“相棒”だ。「作られてからほぼ300年、様々なチェリストの手で弾かれた楽器が今、自分の手元にあつて、それを弾けるのは特別な感覚だし、有難い気持ちでいっぱいです。古いだけに繊細で、天気によっても機嫌の良し悪しがあるのですが、音質がとても柔らかくて、ノーブル(高貴な楽器だと実感しています)」。

また、「ジャンルに囚われ過ぎたくない」と力を込める。「自分が良いと思ったら、積極的に色々なことに挑戦していけたら…。一方で、例えば、ミェチスワフ・ヴァインベルク(1919～96、ポーランド出身の作曲家)の曲など、僕自身で聴いて凄く気に入っているのに、まだまだ弾かれていないチェロの作品は、たくさんあるので、そういったものを自分のレパートリーに採り入れていけたら、と思っています」。

最後に、自分にとっての“チェロ”とは? 「お喋りが余り得意でない自分に代わって、“僕の声”を表現してくれる存在ですね。さらに、“音楽”とは? 「言葉では伝えられないことも、チェロを使えば直に心へ語りかけることができる。魔法のようなものでしょうか…。それでは、理想の演奏家像とは? 「音楽へ常に真摯に向き合い、自分の理想をずっと追いつめたい。そして、いつか自分にしかできない世界観や音楽が、自然と出来るようになれば、嬉しいです。真っ直ぐな眼差しは、音楽の未来を見据えている」。

## ティータイムコンサートシリーズ167 上野通明 チェロリサイタル

2024年1月19日(金)14:00開演 指定席 ※お菓子つき

■出演 上野通明(チェロ)、北村朋幹(ピアノ)

■曲目 J.S.バッハ: ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ 第1番 ト長調 BWV1027  
フォーレ: チェロソナタ 第2番 ト短調 op.117  
ベートーヴェン: チェロソナタ 第5番 二長調 op.102-2  
ブラームス: ヴァイオリンソナタ 第1番 ト長調「雨の歌」 op.78

■お問い合わせ ザ・フェニックスホールチケットセンター 06-6363-7999(平日10:00～17:00 土日祝休)

この公演は、前売り券が予定枚数に達したため販売を終了しております。再販売または当日券の販売については、詳細が決まり次第ホームページでお知らせいたします。



ザ・フェニックスホール  
友の会優先予約  
11月24日(金)  
10:00 受付開始

イー・フェニックス  
E-PHX優先予約  
11月27日(月)  
10:00 受付開始

一般発売  
11月28日(火)  
10:00

インターネット予約による  
お申込みは11月29日(水)10:00から!

※発売日当日は電話予約のみ

■レクチャーコンサートシリーズ34

2024年  
3月16日(土)

15:00開演 指定席  
一般¥3,500(友の会会員¥3,150)  
学生(25歳以下)¥1,000

フェニックス・リベラルアーツ・プロジェクト  
「J.S.バッハ×建築」

いま、劇場から考える、ニッポンの文化、芸術。

よりよい社会のために、いま、劇場に何ができるのか?これまでの「演じる舞台」としての劇場から「語る劇場」へ。音楽、建築、文学、数学、演劇、美術、哲学など、あらゆる分野の領域を越えて、ひとつにつながり、リベラルアーツの知をよりよい社会づくりに活かします。ザ・フェニックスホールの舞台から新たな知の挑戦が、今、はじまります。

出演

伊東豊雄(建築家)、富田一樹(パイプオルガン)、浦久俊彦(ナビゲーター)

第1部 伊東豊雄 レクチャー (ナビゲート浦久俊彦)

テーマ「建築と音楽」  
世界的に有名な台湾のオペラハウス「台中国家歌劇院」をはじめ、数々のコンサートホールを設計してきた伊東氏による建築と音楽について。

第2部 富田一樹オルガンコンサート

日本人初となるバッハ国際コンクール・オルガン部門優勝者が弾くバッハ音楽の真髄。  
曲目 J.S.バッハ:前奏曲とフーガ 八長調 BWV846(平均律クラヴィア曲集より)  
フーガの技法 BWV1080 より I、II、XII ほか  
※演奏には、「ポジティブオルガン」という小型のオルガンを使用します。

第3部 伊東豊雄×浦久俊彦×富田一樹 クロストーク

建築とバッハをテーマに、バロック時代の教会から現代のコンサートホールまで、建築家の考える音楽と、音楽家が考える建築について白熱のクロストーク。



ホール主催・共催・協賛・協力公演チケットのお申し込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00

- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
  - ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
  - ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。

- E-PHX(イー・フェニックス)優先予約
  - ・E-PHX(イー・フェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
  - ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話での登録はできません。

- 一般発売
  - ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

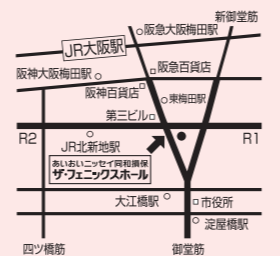
https://phoenixhall.jp/

チケットセンターのページからお申込みください

- インターネット予約(主催公演のみ)
  - ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
  - ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれ入りますが電話でお問合せください。
  - ・ホームページ更新の都合により、完売表示のない公演でもお申込み時には完売となっていることもございます。どうぞご了承ください。
  - ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしていません。
  - ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

直接のご来店によるお申込み

・ザ・フェニックスホールチケットセンターはホール建物8階、エレベーターを降りて廊下右手です。



チケットお申込み後のお受け渡し方法

電話予約後に郵便振込をしていただき、入金確認後にチケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はおお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律450円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

ザ・フェニックスホールに集うトップアンサンブルシリーズ2024-2025

共同主催 公益財団法人 日本室内楽振興財団、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

室内楽の至高のレガシー ベートーヴェン「ラズモフスキーセット」

3公演セット券  
一般 ¥13,000

友の会会員(お一人様2席まで) ¥11,500

※3公演セット券・学生券は当ホールチケットセンターのみのお取り扱い  
※1公演毎のご購入も可能です

今シーズンのトップアンサンブルシリーズでは、ベートーヴェンの不朽の名作「ラズモフスキーセット」を軸に、俊英からベテランまで世界で注目を集めるアンサンブルが揃います。ハイドンなどの先達の技法を学び、ベートーヴェンが室内楽界に革新を巻き起こした「ラズモフスキーセット」を辿る旅。彼らと一緒に歩みましょう。

4/29  
月・祝

15:00開演 指定席 一般5,000円(友の会会員4,500円) 学生(25歳以下/限定数)1,500円

時代を越えたウィーンの風  
レオンコロ弦楽四重奏団

- 出演 ヨナタン・昌貴・シュヴァルツ、アメリー・コジマ・ヴァルナー(以上ヴァイオリン)、近衛麻由(ヴィオラ)、ルカス・実・シュヴァルツ(チェロ)
- 曲目 ウェーベルン:弦楽四重奏のための緩徐楽章  
シューベルト:弦楽四重奏曲 第9番 ト短調 D173  
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第7番 へ長調 「ラズモフスキー 第1番」op.59-1



9/27  
金

19:00開演 指定席 一般5,000円(友の会会員4,500円) 学生(25歳以下/限定数)1,500円

受け継がれる正統派ドイツサウンド  
ヘンシェル・クアルテット

- 出演 クリストフ・ヘンシェル、ダニエル・ベル(以上ヴァイオリン)、モニカ・ヘンシェル(ヴィオラ)、マティアス・バイヤー=カルツホイ(チェロ)
- 曲目 メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第3番 二長調 op.44-1  
シューベルト:弦楽四重奏曲 第13番 イ短調 「ロザムンデ」D804  
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第9番 八長調 「ラズモフスキー 第3番」op.59-3



2025  
3/1  
土

15:00開演 自由席 一般5,000円(友の会会員4,500円) 学生(25歳以下/限定数)1,500円

弦楽四重奏大國アメリカで頭角を現す俊英  
ヴェローナ・クアルテット

会場 読売テレビ 10hall  
※この公演のみ別会場となります。

- 出演 ジョナサン・オン、ドロシー・ロー(以上ヴァイオリン)、アビゲイル・ロジャンスキー(ヴィオラ)、ジョナサン・ドーマンド(チェロ)
- 曲目 メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第1番 変ホ長調 op.12  
ヤナーチェク:弦楽四重奏曲 第1番 ホ短調「クロイツェルソナタ」  
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第8番 ホ短調「ラズモフスキー 第2番」op.59-2

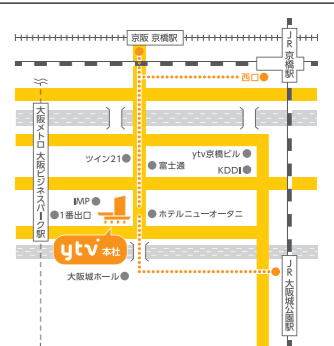


あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールでは、照明・音響設備、エスカレーター等の改修工事を施工することとなり、2025年2月5日(水)から2025年4月30日(水)の間休館させていただきますこととなりました。これにより、2025年3月1日(土)の公演は読売テレビ 10hallで公演を開催いたします。

読売テレビ 10hall

※座席数242席のホールです。

〒540-8510 大阪市中央区城見1丁目3番50号 読売テレビ本社屋1F  
電話 06-6947-2184  
https://www.ytv.co.jp/10plaza/





## 今後のティータムコンサートお薦め2公演

第166回  
12/15  
金

14:00 指定席 \*お菓子つき 一般3,500円(友の会会員3,150円) 学生(25歳以下/限定数)1,000円

### 聖なるア・カペラの響き ～クアルトナル・クリスマスコンサート～



- 出演 ミルコ・ルードヴィツヒ、ジョー・ホルツワース(以上テノール)、クリストフ・ベーム(バリトン)、ゼンケ・タムス・フライアー(バス)
- 曲目 グレゴリオ聖歌「喜び給え」  
J.S.バッハ:優しくも愛らしき  
ハーバート・ヒューズ:ダウン・バイ・ザ・サリーガーデン  
ピーター・セテラ/デイヴィッド・フォスター:素直になれなくて  
クリスマス・キャロル:もろびと声あげ ほか (予定)

「クアルトナル」は、北ドイツの名門ユーターゼン少年合唱団出身者の4人で結成された男声ヴォーカルグループ。2006年には「ドイツ国際合唱コンクール」ヴォーカル・アンサンブル部門優勝のほか、数多くのコンクールに入賞を果たしています。彼らの歌声は繊細でありながらも力強く、ザ・フェニックスホールの空間に美しく響くことは間違いありません。合唱大国ドイツ最高峰の歌声とともに、クリスマスのひと時をお楽しみください。

第168回  
2024  
2/9  
金

14:00 指定席 \*お菓子つき 一般3,500円(友の会会員3,150円) 学生(25歳以下/限定数)1,000円

### 辻彩奈 ヴァイオリンリサイタル



- 出演 辻彩奈(ヴァイオリン)、萩原麻未(ピアノ)
- 曲目 ラヴェル:ヴァイオリンソナタ イ長調「遺作」  
フォーレ:ヴァイオリンソナタ 第1番 イ長調 op.13  
ショーン:詩曲 op.25  
フランク:ヴァイオリンソナタ イ長調

近年、若手ヴァイオリニストの台頭が目覚ましいですが、そうした中でも燦然とした輝きを放つ辻彩奈さん。彼女の演奏は情熱的で艶があると同時に冷静で知的な側面が垣間見えます。紅い炎と蒼い炎が絡みあうように音楽が生まれ、辻さん独自の世界観が浮かび上がってくるのです。今回はフランスに留学経験のある萩原麻未さんとのオール・フレンチ・プログラム。2人がどのような音楽が紡ぎ出すのか。今から楽しみで仕方がありません。

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内 ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛公演 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”～関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する芸術音楽～  
【ニューイヤー特別企画】“シュベールティアード” in OSAKA 主催 コジマ・コンサートマネジメント

### シルヴィア・シュヴァルツ(ソプラノ) & アヴォス・アンサンブル(ピアノトリオ)

発売中

2024年1月15日(月) 19:00開演 指定席 前売・当日¥4,800(友の会会員¥4,300) ※友の会割引は前売のみ

- 出演 シルヴィア・シュヴァルツ(ソプラノ)  
アヴォス・アンサンブル/マリオ・モンテレー(ピアノ)、山田美伶(ヴァイオリン)、アレッシオ・ピアニネリ(チェロ)
- 曲目 シュベール:ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ 第1番 二長調 op.137-1,D384  
ピアノ三重奏曲 変ホ長調 op.148, D897「ノットゥルノ」  
ピアノ三重奏曲 変ホ長調 D28「ソナタ楽章」  
ガニュメート、秘められた愛、糸を紡ぐグレートヒェン、水の上で歌う、春に、夜と夢、流れの上で、岩の上の羊飼

ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、バイエルン国立歌劇場などで活躍する名歌手とイタリアの室内楽の俊英、アヴォス・アンサンブルがお贈りしますニューイヤー特別企画で新春のひとときをお過ごしください!!



### 協賛公演 松井秀太郎 Concert Hall Live

主催 ABCテレビ  
エイベックス・クラシックス・インターナショナル

発売中

2024年1月27日(土) 14:00開演 指定席 前売・当日¥5,500(友の会会員¥5,000) ※友の会割引はお1人様2枚まで

- 出演 松井秀太郎カルテット/松井秀太郎(トランペット)、兼松衆(ピアノ)、小川晋平(ベース)、小田桐和寛(ドラムス)
- 曲目 STEPS OF THE BLUE  
HYPNOSIS  
TRUST ME ほか

日本全国の素敵なコンサートホールを巡る、自身初のライブツアーを開催させていただくことになりました。2023年にリリースしたデビューアルバム「STEPS OF THE BLUE」にも参加していただいている素晴らしいバンドメンバーと共に、オリジナルナンバーからJAZZスタンダードの名曲、クラシック楽曲のオリジナルアレンジまで、幅広く演奏する予定です。即興演奏の要素が多く、同じ楽曲でもその日その場所によって音楽が大きく変化するJAZZ。ライブハウスとは一味違ったコンサートホールの美しい響きのなかで、その瞬間にしか生まれないその日ならではの世界をお楽しみください。信頼するメンバーと共に創る念願のライブツアー、全国の会場で皆様とお会いできることをとても楽しみにしております! (松井秀太郎)



協賛公演 NHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターの歴任でもおなじみ! 2020-2023年

### 白井圭 孤高なるソロ・ヴァイオリンの世界

主催 コジマ・コンサートマネジメント

11/28(水) 発売

2024年3月6日(水) 19:00開演 指定席 前売・当日¥4,000(友の会会員¥3,600) ※友の会割引は前売のみ

- 出演 白井圭(ヴァイオリン)
- 曲目 J.S.バッハ:無伴奏ヴァルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006  
バルトーク:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ Sz.117, BB.124  
パガニーニ:24のカプリース op.1より 第1番 ホ長調・第2番 口短調・第3番 ホ短調・第4番 八短調(予定)  
J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番 八長調 BWV1005

この度、一晩を一人でのお話をいただき、これまでずっと逃げて参りましたが、独奏のコンサートをさせていただくことになりました。僕にとってはアンサンブルが至福の時間なので、孤独な戦いとなることでしょう。プログラムには、バッハの中で最初に弾いた作品と、これまで何度もトライしては挫折してきた至高の名作である、ソナタ八長調。そして、いつも譜面台の上でスタンバイしつつも、なかなか形にならないパガニーニ。またいつか真面目に取り組みたいと思っていたバルトークを並べてみました。是非このチャレンジを「独り」と感じない様、多くのお客様にサポートしていただきたいと願っています。こういう機会がなければ、完成度を求めて練習しないと作った作品たちです。皆様と、この自分にとって意欲的な時間を共有出来ることを楽しみにしています。 白井圭



協賛公演 G.A. コンサルトンツ クラシック・スペシャル

### 関西弦楽四重奏団

主催 コジマ・コンサートマネジメント

### バルトーク:弦楽四重奏曲全曲 & 弦楽四重奏曲傑作選 第1回(全6回)

発売中

2024年3月26日(火) 19:00開演 指定席  
一般前売・当日¥4,000(友の会会員¥3,600) 学生前売・当日¥2,000(年齢不問) ※友の会割引は前売のみ

- 出演 関西弦楽四重奏団/林七奈、田村安祐美(以上ヴァイオリン)、小峰航一(ヴィオラ)、上森祥平(チェロ)
- 曲目 ハイドン:弦楽四重奏曲 八長調「皇帝」op.76-3, Hob. III-77  
ドビュシー:弦楽四重奏曲 短調 op.10  
バルトーク:弦楽四重奏曲 第1番 op.7

当ホールでお馴染みの関西弦楽四重奏団がバルトークの弦楽四重奏曲全曲を6回に分けてお届けします。他の作曲家の弦楽四重奏曲の傑作選と共に約2年に渡りバルトークが聴けるこの機会はとても貴重です。是非お聴き逃しなく!!



あいおいニッセイ同和損保  
MS&AII INSURANCE GROUP

地域の皆さまとともに。

弊社は、地域密着を行動指針の一つとする企業経営を行っており、弊社およびグループ企業にて培ったノウハウを活かし、地方創生における「まち・ひと・しごと」の各分野において地域社会、地域企業のお役に立ちに向けた支援を行っております。

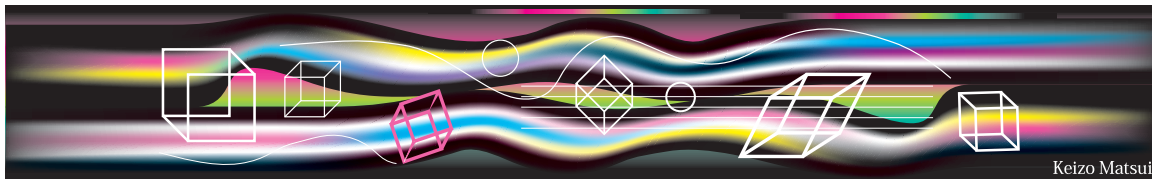
CSV x DX

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1 <https://www.aioinissaidowa.co.jp/>

### 「アサヒビヤレストラン スーパードライ梅田店」閉店、および「2階ドリンクコーナー」一時閉鎖のお知らせ

ザ・フェニックスホール2階ホワイエのドリンクコーナーにつきましては、ホール開館以来、同ビル内にあります「アサヒビヤレストラン スーパードライ梅田店」に運営を委託しておりましたが、同店が2023年10月末日をもち、店舗営業を終了することとなりました。このため、11月1日(水)よりドリンクコーナーを一時閉鎖とさせていただきます。再開時期等は決まり次第ご案内申し上げます。1階アトリウムに自動販売機がございますので、どうぞご利用ください。

## 愛知県芸術劇場「ミニセレ」シリーズで多様な音楽の楽しみを!



Keizo Matsui

愛知県芸術劇場は、名古屋駅から地下鉄で4分、名古屋市中心街にある交通至便な劇場です。オペラやバレエの上演に適した大ホール、クラシック音楽に最適で世界中のオーケストラがツアーでやってくるコンサートホールとともに、舞台と客席(120席から330席程度)ともに可変の小ホールがあります。この小ホールで実施している「ミニセレ」シリーズをご紹介します。

「ミニセレ」はミニシアター・セレクションの略です。小ホールを会場に、愛知県芸術劇場の自主事業に携わるプロデューサーたちがいま見てほしい作品を多様なジャンルから選ぶ企画シリーズで、2015年に開始しました。小ホールは、壁も床も天井もすべて黒色の“ブラックボックス”。その雰囲気から、前衛的で実験的な舞台公演を取り上げています。

### 現代音楽を積極的に紹介

音楽公演も然り。このシリーズで核になっている音楽はスバリ現代音楽です。

ピアニスト中川賢一による「フェラーリのピアノ曲を堪能する!」(2015年)では、フランスの作曲家リュック・フェラーリを特集し、録音された音とピアノによる共演などの作品を演奏。照明も、中川さんの演出により曲ごとに変えライブ感満載のコンサートでした。また中川さんは作曲家の野村誠を迎えて、二人が大好きなオリヴィエ・メシアンのパiano曲を演奏するデュオ・コンサート「愛と知のメシアン!!」(2021年)を行い、メシアン愛に溢れるピアノのソロ&デュオの演奏と解説を交えたおしゃべりが炸裂しました。野村さんはメシアンに捧げた作品に加え、コロナ禍でかなり制限された形でしたが観客参加型の委嘱新曲を熱演しました。



©羽鳥直志  
『アコースティカ』

大量の自作楽器による型破りなコンサートとなったのは、アルゼンチンの作曲家マウリシオ・カーゲルの大曲『アコースティカ』(2019年)で

す。舞台面を客席面より1mほど低く下げて、いろいろな位置に、楽譜の指示に沿って演奏者が手作りした風変わりな楽器を設置。ギタリストの山田岳始め6人の演奏者が、あちらこちらに移動しながら、これら自作楽器や通常の楽器や声で次々に演奏していくコンサートは、様々な音を発見していく体験でした。楽器の作り方と演奏方法がかわれた楽譜は、演奏順をシャッフルできるようになっており、ロビーで展示も行いました。

ザ・フェニックスホールでも上演した、三輪真弘(作曲家) + 前田真二郎(映像作家)による、モノログ・オペラ『新しい時代』(2017年)も「ミニセレ」シリーズで行いました。

### 映像、ダンスとコラボした舞台作品も

音楽と映像や美術やダンスがコラボした作品も多数取り上げています。現代音楽の演奏で世界を圧巻するアルディッティ弦楽四重奏団とコンテンポラリー・ダンサー小尻健太の共演(2019年)。ピアニスト向井山朋子が郷里・熊野をモチーフに映像とピアノの音により心象風景と現代音楽をコラボレートした『KUMANO』(2021年)。特異な音楽とビジュアルイメージで比類ない表現にチャレンジする作曲家、安野太郎によるゾンビ音楽『大霊廟IV—音楽崩壊—』(2023年)など、他のホールではなかなか出会えないプログラムです。

このように「ミニセレ」では、多様な音楽を型にとらわれず自由に楽しんでいただきたいと考えています。照明による演出や視覚的な面白さや演奏者自身による解説などを加えることによって、音楽だけでなく複数の面から多角的に楽しめるプログラムにしています。愛知県芸術劇場のウェブサイトをご覧ください、気になる公演があれば、ぜひご来場ください。



©羽鳥直志  
『アルディッティ弦楽四重奏団x小尻健太』

(愛知県芸術劇場企画制作部部長/チーフプロデューサー 藤井明子)

### ■公演情報

愛知県芸術劇場主催の現代音楽公演

2025年1月 岡田利規+藤倉大「リビングルームのメタモルフォーシス」日本ツアーなどを予定しています。

問合せ:愛知県芸術劇場 TEL:052-211-7552(10:00-18:00) Email:contact@aaf.or.jp

ミニセレの公演情報が  
ご覧いただけます



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211

Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2023年11月  
発行 あいおいニッセイ同和損保  
ザ・フェニックスホール  
編集 上田英司  
デザイン 松井桂三有限公司

